## **SF**BUSINESSSOLUTIONS

## 認定アクセス・スペシャリスト

CASp 監査役の選択

## CASp 監査役を面接する際には、

CASp 監査役は、その専門知識として ADA アクセシビリティ指針 (ADA Accessibility Guidelines (1994 ADAAG))、2010 ADA 基準 (2011 年および 2012 年 3 月より有効)、そしてカリフォルニア建築基準に精通していることが求められます。

- ADA および建築基準法に関する経歴を必ずお聞きください。<u>履歴書のみを信用し</u>ないでください。
- 良い CASp 監査役は、建設、建築、およびその検査に対する深い経験があります。
- 過去に CASp 検査を何回くらい行ったことがあるかお聞きください。
- 信用照会先を聞き、その照会先に電話あるいは、直接出向き、お問い合わせ ください。
- 弁護士と仕事をするのか、する場合には弁護士にも同様にお聞きください。
- 建築請負業者と仕事をするのか、する場合には見積に対して請求するかどうかお聞きください。
- CASp 報告書のサンプルを参照するようお聞きください。

## CASp 報告書:

- CASp は、建築許可の全履歴を準備します。その中には、カリフォルニア建築基準に基づき、アクセスの設置状況や以前の要因等の改築工事の概要を含みます。
- CASp 報告書は、ビル自体そしてビル内に駐車場がある等の特徴や中二階がある、 宴会場およびバーがある等のビル内の占有状態を描写する必要があります。
- CASp 報告書は、ADA の優先表の書式に従い、全てのバリアを認識している必要があります。第一優先は、エントランス、第二優先は通路、そして第三優先は、トイレ、水飲み場等です。
- 報告書にはバリアの写真を添付する必要があります。
- CASp は、問題とその解決を確認できなければなりません。何よりも
- CASp 検査官は、貴社の現場および財政状況に適合したバリア撤去プランを纏めるための力になる人であるべきです。

本情報は、市長室、障害者担当カーラ・ジョンソンにより作成



SBC